

17番	柴田 利勝 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 選挙投票所について投票率向上のため、期日前投票所などの増設について。</p> <p>【質問主旨】</p> <p>本市の市長市議選の投票率は平成23年度 57.06%、27年度は 55.01%、そして31年度 48.32%、と 50%を下回ってきている。低投票率が続くと、一部の利益しか代弁できない政治が生まれ、地域の政策議論が劣化・不在となりやすく、住民の地方自治に対する関心が更に低下するなどの問題が指摘され、また、民主主義の根幹が揺らぐと指摘されている。投票率の向上について、若年層の政治に対する関心を高め、選挙に対する意識、動機付けをはかること。有権者の投票行動の変化に合わせて投票しやすい環境を一層整備すべきと考える。</p>	<p>(1) これまでの投票所の考え方について</p> <p>(2) 投票率向上に向けた取り組みについて</p>	<p>① 平成 26 年以降投票所を減らしてきたが、その結果、投票所を減らしたことが投票率の低下にどのように影響を与えたと分析しているか。</p> <p>② 本市はこれまで本庁に期日前投票所を開いてきたが、投票率の向上に寄与してきたのか、また、利用者の地域的な傾向についてはどうか。</p> <p>③ ②、に関して世代間傾向に偏りがあるか、特に若年層の動向についてはどうか。</p> <p>④ 公職選挙法には、「期日前投票所を設けた場合には、交通手段の確保、その他選挙人の便宜のために必要な措置を講ずるものとする」とあるが、市としてどのような措置を講じてきたか。</p> <p>⑤ 令和 3 年 10 月実施の衆議院議員総選挙において、窯投票区の投票所を廃止したことに伴い下品野地域交流センターに 1 日のみ期日前投票所を開設し、送迎バスも運行したが、その効果をどのように分析しているか。</p> <p>⑥ 1 日のみの開設であったが、その結果を踏まえ、窯地域住民の利便性や期日前投票所のあり方などを含めて、今後の投票所のあり方をどのように考えているか。</p> <p>① 若年層の投票率は低いとされ、その理由としては、「政治は変わらない」、「選挙より自分優先」、「無関心」とある。市として若年層向けの選挙のあり方に対する意識改革、投票のしやすさ、など問題解決に向けた考えはあるか。</p> <p>② 全体的な選挙の投票率の向上のためには、市内有権者の投票行動の変化に合わせて、投票しやすい環境を一層整備する必要がある。特に期日前投票所を市内にバランスよく設置することによって、利用率が向上すると思うが市の考えを伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。